

# 国際交流基金助成事業報告書

薬学部 3年次生 M.K

今回、オーストラリア薬学語学研修に参加し、得られた経験を報告します。

## 1) 渡航前に設定していた目標

本研修に参加するにあたり、三つの目標を設定していました。

第一に、英語スキルの向上です。これまで学習してきた英語は主に読み書きが中心であり、実際の会話においては自分の考えを十分に表現できない場面が多くありました。研修先では日常生活や学習の中で英語を使う機会が増えるため、積極的に会話に参加し、聞く力と話す力の両方を伸ばしたいと考えていました。

第二に、海外の医療について理解を深めることです。日本と海外では医療制度や医療従事者の役割、患者との関わり方に違いがあると考えられます。実際に現地の医療現場や教育を見聞きすることで、日本との違いを理解し、それぞれの良さや課題について学びたいと考えました。また、異なる文化や価値観の中で行われる医療を知ることは、自身の視野を広げるだけでなく、将来医療従事者として働くうえでも大きな学びになると考えていました。

第三に、限られた時間の中で主体的に行動することです。慣れない環境では、受け身の姿勢では十分な経験を得ることができないので、自ら課題を見つけ、疑問に思ったことは積極的に質問し、行動に移していきたいと考えていました。また、異文化の中で生活することで、自分自身の価値観や考え方を見つめ直す機会にしたいと考えました。

## 2) その目標は渡航後どうだったか

渡航後を振り返ると、設定していた三つの目標について、一定の成果と課題を感じました。

まず英語スキルについては、日常会話を通して聞く力と話す力が向上し、簡単な意思疎通であれば行えるようになりました。しかし、専門的な内容や複雑な表現になると理解や発言が難しく、今後の課題も明確になりました。

次に海外の医療については、現地の医療体制や患者との関わり方を知ることで、日本との違いを具体的に理解することができました。特に海外の医療設備や多職種連携の在り方は印象的であり、自身の視野を広げる貴重な経験となりました。

主体的な行動については、初めは戸惑うこともありましたが、次第に自分から質問したり行動したりすることができるようになりました。限られた時間の中で積極的に行動することの重要性を実感し、自身の成長につながったと感じています。

### 3) これからの自分

今回の経験を今後活かすため、英語学習を継続し、日常的に英語に触れる機会を作りたいと思います。特に医療英語の理解と表現力をさらに高めていきたいと考えています。

また、海外で学んだ医療の考え方や患者との関わり方について、日本の医療と比較しながら自分自身に活かせる点を取り入れ、多様な価値観を理解し、柔軟に対応できる医療従事者を目指したいと考えています。さらに、主体的に行動する姿勢を今後も大切にし、学習や実習の場面でも自ら考え、積極的に行動していきたいです。今回の研修で得た経験を一過性のものにせず、今後の学びや将来の医療現場での実践に活かしていきたいと考えています。

### 4) 語学学習について

授業時間は日本の大学と同じように90分でしたが、休憩時間は30分と日本に比べて長く、身体を動かしたりカフェで過ごしたりする学生が多い印象でした。大学では教科書が配られ、それを元に授業は進められており、ページが進むにつれて少しずつ内容が難しくなっていました。授業は講義を聞くことだけでなく、自分の考えを発言する機会が多く設けられていました。授業は全て英語なので、先生の話している言葉や教科書の知らない単語などがあれば、その都度調べて教科書に書くようにしていました。最終日には映画鑑賞をしました。

### 5) ホームステイについて

ホームステイでは、現地の家庭で生活することで、オーストラリアの文化や習慣を身近に学ぶことができました。食事や会話を共にする中で、英語を実際に使う機会が増え、自然な表現や会話力の向上につながりました。また、ホストファミリーが温かく迎え入れてくださったので、安心して生活することができました。一方で、日本との生活習慣の違いに戸惑う場面もありましたが、その都度自分で考えて行動することで、柔軟に対応する力



を身につけることができました。ホームステイは、語学力だけでなく異文化理解や主体性を高める貴重な経験となりました。

#### 6)最後に

最後に、オーストラリアでの生活は学びだけでなく、現地ならではの貴重な体験ができました。空いた時間には野生のコアラやカンガルーを見ることができ、日本では味わえない自然の豊かさを実感しました。また、現地の学生と交流し、ダーツなどを一緒に楽しむ中で、言語や文化の違いを超えて人とつながることの大切さを感じました。これらの経験は、異文化理解を深めるとともに、留学生生活をより充実したものにしてくれました。

